

平成27年度 鳴滝総合支援学校 後期学校評価アンケート集計結果

平成28年3月

	教職員	回答率 91%			
		よく出来 ている	大体出来 ている	あまり出来 ていない	出来てい ない
学 習 に つ い て	児童生徒は、自己目標をもち、課題を意識して学習に取り組んでいる	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
	児童生徒は、満足感や達成感をもって学習に取り組んでいる	10.7%	75.0%	14.3%	0.0%
	児童生徒は、個別の包括支援プラン(キャリアプラン)に沿った「生きる力」を身につけてきている	7.1%	75.0%	17.9%	0.0%
	教員は、個別の包括支援プラン(キャリアプラン)に基づいて計画的な指導を行っている	7.1%	67.9%	21.4%	3.6%
	教員は学習効果を上げるため、指導法の改善に取り組んでいる	10.7%	64.3%	25.0%	0.0%
	教員は、児童生徒の努力や達成度について適切に評価し、プランの作成や指導法の改善に生かしている	10.7%	71.4%	17.9%	0.0%
	教員は、児童生徒が次の目標を持てるような評価をし児童生徒に伝えている	17.9%	75.0%	7.1%	0.0%
生 活 に つ い て	児童生徒は、あいさつや言葉遣いなど礼儀正しい学校生活を送っている	25.0%	57.1%	17.9%	0.0%
	児童生徒は、学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%
	児童生徒は、友達に対して思いやりをもち、お互いに協力している	21.4%	71.4%	7.1%	0.0%
	児童生徒は、任された役割を持って生活を送っている	21.4%	71.4%	7.1%	0.0%
	児童生徒は、健康な生活を送ることを意識し、自分なりの維持管理に取り組んでいる	14.3%	78.6%	7.1%	0.0%
将 来 に 向 け て	キャリアカウンセリングやケース会議により、進路方針の周知と共有ができています	7.1%	82.1%	10.7%	0.0%
	キャリア教育の観点に立った、児童生徒の実態と進路に応じた進路学習や、校外実習の機会が用意できている	22.2%	63.0%	14.8%	0.0%
	キャリア教育の観点に立った、児童生徒の実態と進路に応じた関係機関との連携ができています	22.2%	63.0%	14.8%	0.0%
	企業との連携・協働による学習(実習)環境の設定ができています	33.3%	48.1%	18.5%	0.0%
	地域との連携・協働による学習(実習)環境の設定ができています	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%
	児童生徒が自己理解を深められるような取組をしている	10.7%	75.0%	14.3%	0.0%
	教員は、児童生徒の自己肯定感を高めることを意識して指導に当たっている	14.3%	71.4%	10.7%	3.6%
教 育 環 境 に つ い て	日常的に教室の清掃、美化に取り組んでいる	39.3%	57.1%	3.6%	0.0%
	児童生徒の感染症予防を意識して、保健、衛生管理に留意している	25.0%	71.4%	3.6%	0.0%
	校教具は機能的に使えるよう、整理整頓に努めている	32.1%	64.3%	3.6%	0.0%
	校地内の緑化、廃棄物の削減など、環境に配慮した取組が実践できている	35.7%	60.7%	3.6%	0.0%
キ ャ リ ア 支 援 者 と の 連 携	包括支援プラン(キャリアプラン)をもとに、短期目標や評価を保護者に適切に伝えている	39.3%	53.6%	7.1%	0.0%
	週予定等により、学習内容や行事計画を保護者に適切に伝えている	50.0%	42.3%	7.7%	0.0%
	保護者からの個別相談に、適切に対応している	42.3%	50.0%	7.7%	0.0%
	保護者は、本校の教育の趣旨、目的を理解している	15.4%	76.9%	7.7%	0.0%
	保護者は、参観・懇談・学習会などに積極的に参加している	3.8%	50.0%	46.2%	0.0%
学 科 間 の 連 携	行事計画、特別活動等、学科間の連携は適切にできている	23.1%	65.4%	11.5%	0.0%
	学科間の共同の取組において、児童生徒は意欲的に活動している	34.6%	53.8%	11.5%	0.0%
	地域校との交流、共同学習において、児童生徒は意欲的に活動している	13.0%	52.2%	21.7%	13.0%
外 部 と の 連 携	市民、他校種、関係機関等からの相談に誠意をもって応えている	44.0%	52.0%	4.0%	0.0%
	知的発達、病弱教育、キャリア教育等に関する自己研鑽を積んでいる	19.2%	69.2%	7.7%	3.8%
校 務 に つ い て	校務分掌組織に基づいて、自らの職務分担を適切に果たしている	15.4%	65.4%	19.2%	0.0%
	会議の精選と業務の効率化に取り組んでいる	11.5%	69.2%	15.4%	3.8%
	学校教育目標の達成に向けて、適切な予算編成と執行に取り組んでいる	30.8%	65.4%	3.8%	0.0%
	各種文書、個人情報等の適切な管理と手続きに取り組んでいる	53.6%	42.9%	3.6%	0.0%
	報告、連絡、相談を常に意識し、情報の共有に努めている	25.0%	64.3%	7.1%	3.6%

保護者	回答率 81%			
	よく出来 ている	大体出来 ている	あまり出来 ていない	出来てい ない
子どもは、目標をもち、自分の課題をふまえて学習に取り組んでいる	24.5%	60.4%	15.1%	0.0%
子どもは、満足感や達成感をもって学習に取り組んでいる	25.0%	55.8%	19.2%	0.0%
子どもは、学校や保護者が必要と考える「生きる力」を身につけてきている	17.0%	56.6%	26.4%	0.0%
子どもの目標や学習計画に基づいて、計画的に指導や支援をしてもらっている	37.7%	52.8%	7.5%	1.9%
子どもに理解しやすいように、授業や教材に工夫がみられる	32.7%	51.9%	11.5%	3.8%
子どもの努力や達成度について、適切に評価してもらっている	36.5%	53.8%	5.8%	3.8%
子どもが次の目標を持てるように評価してもらっている	29.4%	60.8%	5.9%	3.9%
子どもは、あいさつや言葉遣いなど礼儀正しい学校生活を送っている	32.1%	58.5%	9.4%	0.0%
子どもは、学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	41.5%	54.7%	3.8%	0.0%
子どもは、友達に対して思いやりをもち、お互いに協力している	18.9%	58.5%	17.0%	5.7%
子どもは、任された役割を持って生活を送っている	26.9%	59.6%	13.5%	0.0%
子どもは、健康な生活を願い、自分なりの維持管理に取り組んでいる	20.8%	60.4%	17.0%	1.9%
キャリアカウンセリングやケース会議により、進路方針の共有ができています	39.2%	54.9%	5.9%	0.0%
子どもの実態と進路に応じた、進路学習や校外実習の機会が用意できている	29.4%	52.9%	17.6%	0.0%
子どもの実態と進路に応じた、関係機関との連携ができています	27.5%	54.9%	17.6%	0.0%
企業との連携・協働による学習(実習)環境の設定ができています	31.4%	49.0%	19.6%	0.0%
地域との連携・協働による学習(実習)環境の設定ができています	26.0%	56.0%	16.0%	2.0%
子どもは自分の長所に気付いている	15.7%	29.4%	45.1%	9.8%
子どもの自己肯定感が高まってきている	13.7%	47.1%	33.3%	5.9%
校内や教室は清掃され美しい状態である	70.6%	29.4%	0.0%	0.0%
校内や教室は、衛生的で清潔な状態である	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
学習に使う教材や備品は、整理整頓されている	54.9%	43.1%	2.0%	0.0%
校地は緑化され、環境に配慮した様子がうかがえる	54.9%	41.2%	3.9%	0.0%
短期目標や評価について、学校は保護者に適切に伝えている	52.9%	39.2%	7.8%	0.0%
学習内容や行動計画について、学校は保護者に適切に伝えている	51.0%	39.2%	7.8%	2.0%
個別の相談について、学校は保護者に適切に対応している	51.0%	31.4%	13.7%	3.9%
保護者として、本校の教育の趣旨、目的を理解している	30.8%	59.6%	7.7%	1.9%
保護者として、参観・懇談・学習会などに積極的に参加している	13.5%	46.2%	32.7%	7.7%

児童生徒	回答率 92%			
	そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
自分(じぶん)の学習目標(がくしゅうもくひょう)がわかって、学習(がくしゅう)にとりくんでいる	41.2%	50.0%	8.8%	0.0%
共通教科(きょうつうきょうか)で学習(がくしゅう)していて「わかった」「できた」とおもうことがある	48.5%	36.8%	14.7%	0.0%
専門教科(せんもんきょうか)で学習(がくしゅう)していて「わかった」「できた」とおもうことがある	45.6%	45.6%	8.8%	0.0%
いろいろな知識(ちしき)や技能(ぎのう)が身についてきているとおもう	45.6%	41.2%	10.3%	2.9%
先生は、何を何のために勉強(べんきょう)するかをはっきり教えてくれる	47.8%	35.8%	10.4%	6.0%
先生は、わかりやすく勉強(べんきょう)を教えてくれる	45.6%	35.3%	14.7%	4.4%
先生は、学習の成果(せいica)について、伝えてくれる	50.0%	33.8%	10.3%	5.9%
学習の成果(せいica)を知って次(つぎ)の目標(もくひょう)をたてている	38.8%	40.3%	16.4%	4.5%
あいさつや、ていねいな言葉(ことば)づかいができています	35.3%	51.5%	8.8%	4.4%
学校(がっこう)のきまりや約束(やくそく)を守(まも)っている	47.1%	45.6%	7.4%	0.0%
友だちへの思(おも)いやりをもち、おたがいに協力(きょうりょく)している	50.7%	38.8%	7.5%	3.0%
学校や家庭(かてい)で自分にまかされた役割(やくわり)があり、実行(じっこう)している	38.2%	44.1%	14.7%	2.9%
病気(びょうき)や健康(けんこう)に気(き)をつけながら、学校へかよっている	55.9%	30.9%	8.8%	4.4%
卒業後(そつぎょうご)の進路(しんろ)や生活(せいかつ)について、先生や保護者(ほごしゃ)と相談(そうだん)できている	27.9%	50.0%	17.6%	4.4%
卒業後の進路にむけた学習や実習(じっしゅう)にとりくむことができています	47.1%	45.6%	5.9%	1.5%
卒業後の進路や生活について、いろいろな人から、アドバイスを聞(き)くことができる	27.9%	50.0%	16.2%	5.9%
企業(きぎょう)の協力(きょうりょく)があり、職場実習(しょくばじっしゅう)などができていることに感謝(かんしゃ)している	63.2%	33.8%	1.5%	1.5%
地域(ちいき)の協力があり、校外演習(こうがいえんしゅう)などができていることに感謝している	61.8%	27.9%	8.8%	1.5%
自分(じぶん)の長所(ちようしょ)をよくわかっている	33.8%	36.8%	17.6%	11.8%
自分(じぶん)は大切(たいせつ)な存在(そんざい)だ、かけがえのない存在(ぞんざい)だと感(かん)じている	25.4%	38.8%	22.4%	13.4%

前期の学校評価アンケートとの比較(自己肯定感につながる項目として挙げたものを中心に)

- ・児童生徒については、前期のアンケートと比較して大きな変化は見られない。
- ・保護者は、「子どもは、満足感や達成感を持って学習に取り組んでいる」と「子どもは学校や保護者が必要と考えている『生きる力』を身につけてきている」、「子どもは任された役割を持って生活している」の項目でいづれも前期より肯定的な回答の割合が10%以上高くなった。
- ・教職員は、「児童生徒は、個別の包括支援プラン(キャリアプラン)に沿った『生きる力』を身につけてきている」の項目が、前期の同じ項目より肯定的な回答が10%以上高くなった。

→ 保護者は、自分の子どもが前向きに学習に取り組み、力をつけてきている印象を持っていると考えられる。

- ・教職員は、「地域との連携・協働による学習(実習)環境の設定ができています」という項目で、否定的な意見と肯定的な意見が分かれる結果となった。
- ・保護者は前期に比べて「保護者として、参観・懇談・学習会などに積極的に参加している」項目で、否定的な回答の割合が増加した。

- 地域との連携・協働による学習は今年度、職業学科合同研究で取り上げているが、それゆえ教職員が注目し厳しくとらえだしたのではないか。
- 保護者の学校への参加は、年度当初の「学校でどんな様子なのか」がある程度分かってきたこと、実習で参観当日にいない等が否定的な回答が増えた背景にあるのではないか。